

一緒に考えてみませんか！



「うちの子ずっと家にいて暗い」「高齢者、誰が支えるの?」「隣の家の子どもの泣き声が気になる」「働くところがない」「地域の支え合いがなくなっている」と、子ども達、地域や日本の将来がとても不安です。

そこで、制度の谷間にある「引きこもり」「虐待」「切れる若者」「ホームレス」等について、その当事者、支援者や行政の方々と協働で「新たな支えあい」「新たなコミュニティづくり」のあり方について研究をしてきました。

この報告会では、研究の成果物の発表やシンポジウムを行います。

新しい支え合い、コミュニティを創っていくためにも、多くの市民の方々に参加していただきたいと思います。

開催日

2009年3月1日(日) 13:00~

会場

久留米市役所 くるみホール (入場料:無料)

プログラム

裏面にあります。

成果物

- ・ビデオ(新しいコミュニティ創りのモデル)  
「住民が力を生かすコミュニティ創り」、「障害者や子どもがつなぐコミュニティ創り」  
「当事者のメッセージが発信されるコミュニティ」
- ・就学前の子どもを持つ保護者のための「自立と共生プログラム」
- ・久留米地区の谷間の支援ネットワーク(携帯電話を使って簡単検索)

パネリスト

厚生労働省 3名、久留米市 地域福祉課、久留米市教育委員会、保育園園長、児童民生員、精神障害・引きこもり当事者、NPO法人、地域活動支援センター 等

主宰

社会福祉法人 拓く

後援

福岡県、久留米市、久留米市教育委員会、  
社会福祉協議会、久留米市保育所連盟

谷間の支援ネットワーク



携帯電話の  
バーコード  
リーダーで  
読み取り、  
アクセスし  
てください。

## 事業概要

不登校、引きこもり、虐待、ホームレス・・・経済発展とともに、人と人の繋がりが分断され、希薄化している中、生きづらさを抱える人が増えています。このような制度の谷間で支援の必要な人を、サービスにつなげて支えるのではなく、新しいコミュニティをつくることで支える事ができると考え、調査・研究を推進してきました。

まず、様々な立場や経験を持った人々(行政、障害者、地域の人、支援団体)の出会いの場をつくり、分野や業種を越えた連携を行いました。その中で、支援する側とされる側は時として入れ替わり、生活課題・生きづらさを軸に新しい支え合いが出来る事を見出しました。研究の成果として、支え合いの大切さを就学前の保護者に伝えるためのプログラムや、これからの地域コミュニティのあり方を示唆した製作したビデオなどがあります。

## プログラム

13:00~13:25 (5分)	<p>久留米市長挨拶</p> <p>【事業概要】 「谷間の支援を障害者と地域の人でつくる事業」とは?</p> <p>【ビデオ鑑賞】 ・『当事者のメッセージ』</p>
13:25~14:35 (70分)	<p>【シンポジウム1】『あなたは立場や環境や考えが違う人との出会いで意識が変わり、つながろうとしていますか』</p> <p>司会： 丸林 敏幸 (障害者地域生活支援センター ピアくるめ)</p> <p>パネリスト： 成重 竜一郎 (厚生労働省 心の健康づくり対策官) 吉村 文恵 (NPO 法人 全国引きこもり KHJ 親の会 福岡県 [楠の会]) 野口 明仁 (久留米市地域福祉課 主査) 坂本 喜教 (くるめ出逢いの会 / 精神障害当事者) ※ホームレス支援 佐保 大和 (こころの大樹 [ひきこもり支援] 代表) ※引きこもり支援推進 吉武 明子 (久留米市 主任児童委員)</p> <p>指定発言者： 内山 孝子 (久留米市男女平等推進センター 所長) ※デートDVフォーラムの共催 田町 菜穂子 (NPO 法人 ル・バトー 代表 [子育て支援団体]) ※エンパワメント・カフェ推進 磯田 重行 (NPO 法人 WRAP 研究会 代表 / 精神障害当事者) ※ピア・サポート研修推進</p>
14:35~14:40	休憩 (5分)
14:40~15:00 (20分)	<p>【ビデオ鑑賞】 ・『住民が力を生かすコミュニティづくり~支援する側と支援される側と入れ替わる~』 ・『障害者や子供たちがつなげてくれるコミュニティ』</p>
15:00~16:30 (90分)	<p>【シンポジウム2】『あなたは新しい支え合いを本気で創ろうとしていますか』</p> <p>司会： 馬場 篤子 (社会福祉法人 拓く / 事業推進事務局)</p> <p>パネリスト： 藤木 則夫 (厚生労働省 元社会・援護局総務課長) 中村 美安子 (厚生労働省 地域福祉専門官) 佐々木 崇 (ばて 代表 / 身体障害当事者) 古川 克介 (地域活動支援センター707代表 / 身体障害当事者) 重永 侑紀 (NPO 法人 にじいる CAP 代表 [子どもへの暴力防止]) ※自立と共生プログラム開発の推進 松本 良一 (久留米市教育委員会 学校教育課 指導主事) 鬼塚 也寸志 (久留米市保育所連盟会 会長) 徳永 龍一 (NPO 法人 福祉会 すまいる / 久留米市 市役所職員) 浦川 直人 (社会福祉法人 拓く / 事業推進事務局)</p>